

平成27年12月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成27年12月18日（金） 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎1号棟2階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第20号 新設統合校の通学区域について…………… 1</p> <p>議案第21号 通学区域の一部変更について…………… 4</p> <p>議案第22号 岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合について…………… 8</p> <p>議案第23号 教職員の人事措置について…………… 10</p> <p>第3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）国際青少年センター・芸術創造ファクトリー基本構想（案）パブリックコメント（市民意見募集）の実施について…………… 1 ・新潟市立潟東小学校の校章・校歌について…………… 5 ・平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について…………… 11 ・教科書検定期間における編集会議の本市教員の参加について…………… 17 <p>第4 次回日程</p> <p>1月定例会 平成28年 1月22日（金）午後3時30分</p> <p>2月定例会 平成28年 2月 5日（金）午後3時30分</p> <p>第5 閉会</p> <p>第6 協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新通小学校の分離新設に伴う新設小学校の通学区域について…………… 1

平成27年12月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

付議事件

議案第 20 号

新設統合校の通学区域について

新設統合校（新潟市立潟東小学校）の通学区域を，次のとおりとしたいため議決を求め
る。

平成 27 年 12 月 18 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

新設統合校の通学区域の設定について

1 新潟市立潟東小学校の通学区域

現在の潟東東小学校，潟東西小学校及び潟東南小学校の通学区域の全域を潟東小学
校の通学区域とする。

2 対象者

施行期日以降，該当通学区域に居住する児童

3 施行期日

平成 28 年 4 月 1 日

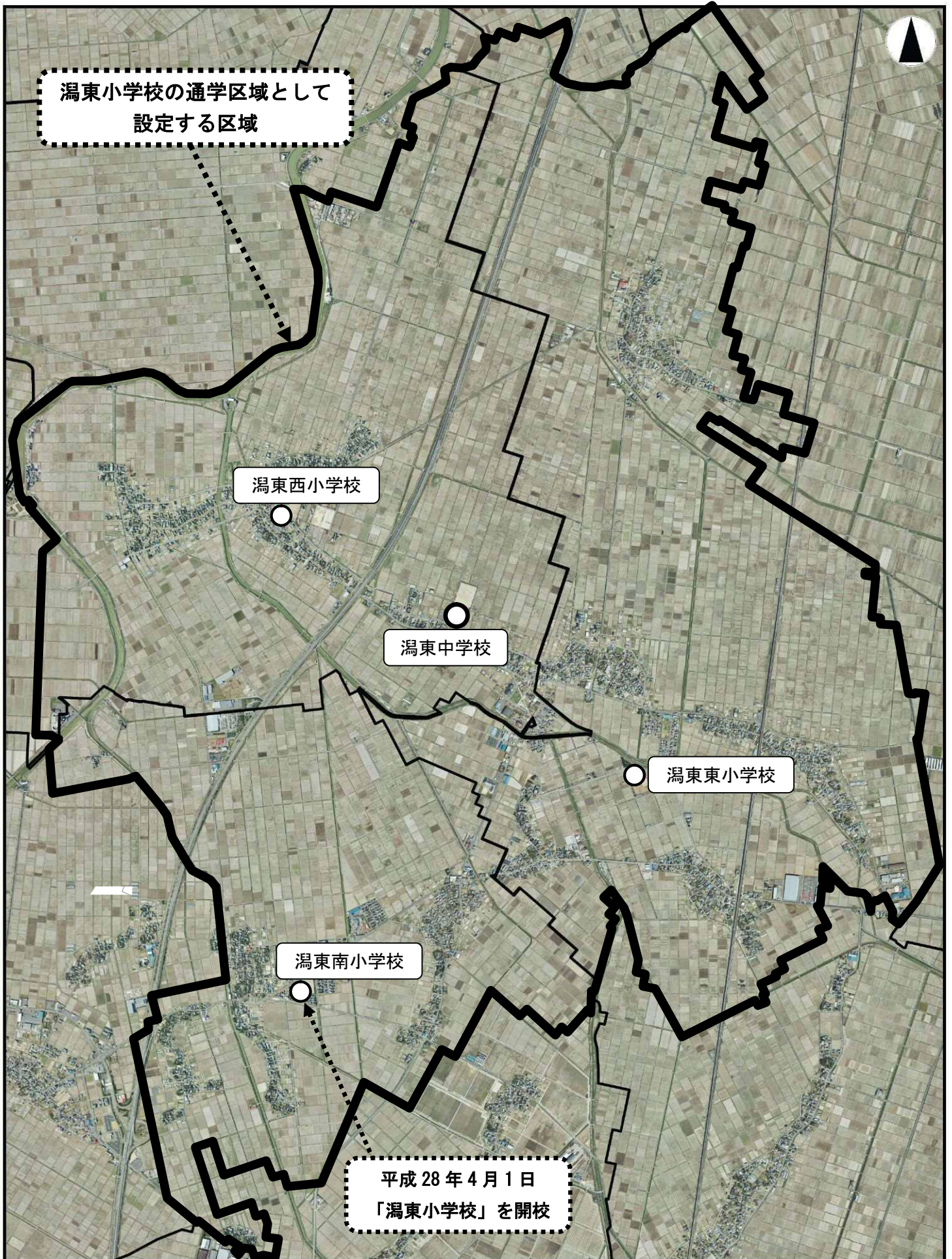
潟東小学校の通学区域

区名	町名	地番等	現通学区域
西蒲区	井随	全部	潟東東小学校
	茨島	〃	潟東南小学校
	今井	〃	〃
	卯八郎受	〃	潟東西小学校
	遠藤	〃	〃
	大曾根	〃	潟東南小学校
	大原	〃	潟東東小学校
	国見	〃	潟東南小学校
	熊谷	〃	潟東東小学校
	五之上	〃	〃
	三方	〃	潟東東小学校、 潟東西小学校
	称名	〃	潟東南小学校
	新飯田潟	〃	〃
	番屋	〃	潟東東小学校
	美里	〃	潟東南小学校
	南	〃	〃
	山口新田	〃	潟東東小学校
	横戸	〃	潟東西小学校
鎧潟	〃	〃	

学級数・児童数の状況

	平成 27 年度	平成 28 年度 推計	平成 33 年度 推計
潟東東小学校	6 学級 (91 人)	—	—
潟東西小学校	6 学級 (76 人)	—	—
潟東南小学校	6 学級 (84 人)	—	—
潟東小学校	—	10 学級 (242 人)	9 学級 (234 人)

※ 各年度の数値は、特別支援学級の学級数・児童数を含めていません。



議案第 2 1 号

通学区域の一部変更について

新潟市立新津第一小学校及び新津第三小学校の通学区域を，次のとおりとしたいため議決を求める。

平成 2 7 年 1 2 月 1 8 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

通学区域の一部変更について

1 新潟市立新津第一小学校の通学区域

現在の新津第一小学校の通学区域から，表の住所を除いた区域を新津第一小学校の通学区域とする。

2 新潟市立新津第三小学校の通学区域

現在の新津第三小学校の通学区域に，表の住所を加えた区域を新津第三小学校の通学区域とする。

3 通学区域変更の対象者

施行期日以降，該当通学区域に居住する児童

4 施行期日

平成 2 8 年 4 月 1 日

5 通学区域を変更する住所（表）

区名	町名	番地等
秋葉区	さつき野 4 丁目	3 番～13 番， 14 番 10 号～15 号，20 号～24 号， 17 番～20 番
	下興野	全部
	善道	全部
	美善 1，2 丁目	全部

さつき野 4 丁目町内会（一部）、美善町内会の通学区域の変更について（概要）

1 通学区域の変更理由

さつき野 4 丁目町内会と美善町内会は、新津第三小学校区を主なエリアとする新津西部コミュニティ推進協議会内の町内会であるが、さつき野 4 丁目町内会では、従来から新津第一小学校区と新津第三小学校区とで町内会が分断されており、美善町内会では、その全域が新津第一小学校区となっている状況のため、地域活動の範囲と通学区域との不一致により、円滑な自治活動に不都合が生じている。

また当該地域に居住する児童の大半は、通学距離の近い新津第三小学校へ、旧新津市域の特例により学区外就学しており、住民は、通学の安全性や地域コミュニティの一体化の観点から、また入学時の申請手続の煩雑さから、新津第三小学校区への通学区域の変更を強く希望している。

これらのことから、通学区域の一部を変更し、当該地域の通学区域を新津第三小学校区としたい。

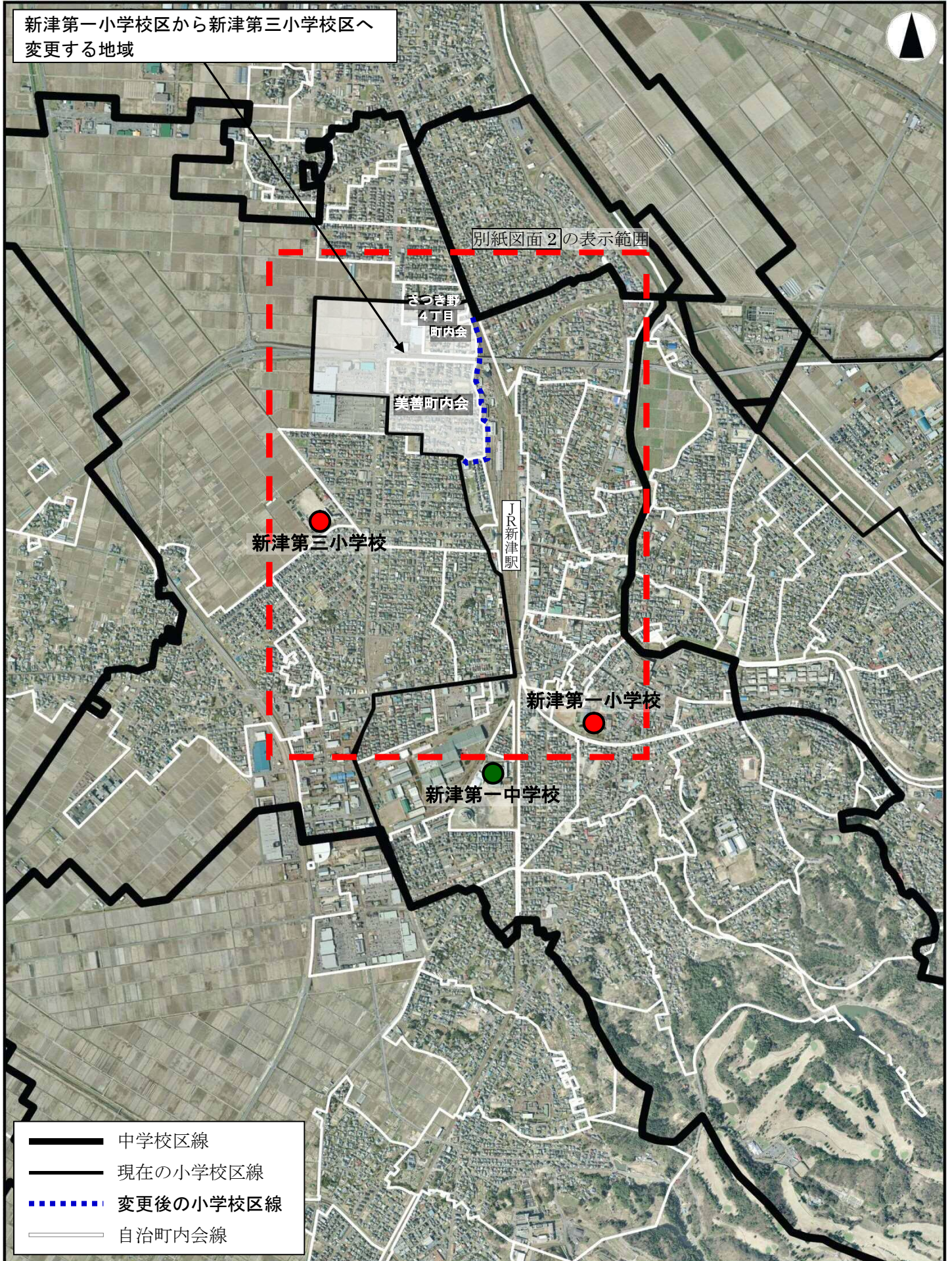
2 学校の規模

	平成 27 年度	平成 28 年度 推計	平成 33 年度 推計
新津第一小学校	14 学級（406 人）	14 学級（403 人）	12 学級（381 人）
新津第三小学校	25 学級（754 人）	24 学級（767 人）	24 学級（695 人）

※ 各年度の数値は、特別支援学級の学級数・児童数を含めていない。

新津第一小学校区から新津第三小学校区へ通学区域を変更する地域

新津第一小学校区から新津第三小学校区へ
変更する地域



1/20000



新津第一小学校区から新津第三小学校区へ通学区域を変更する地域



1/8000



議案第 22 号

岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合について

岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合を、次のとおりとしたいため議決を
求める。

平成 27 年 12 月 18 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

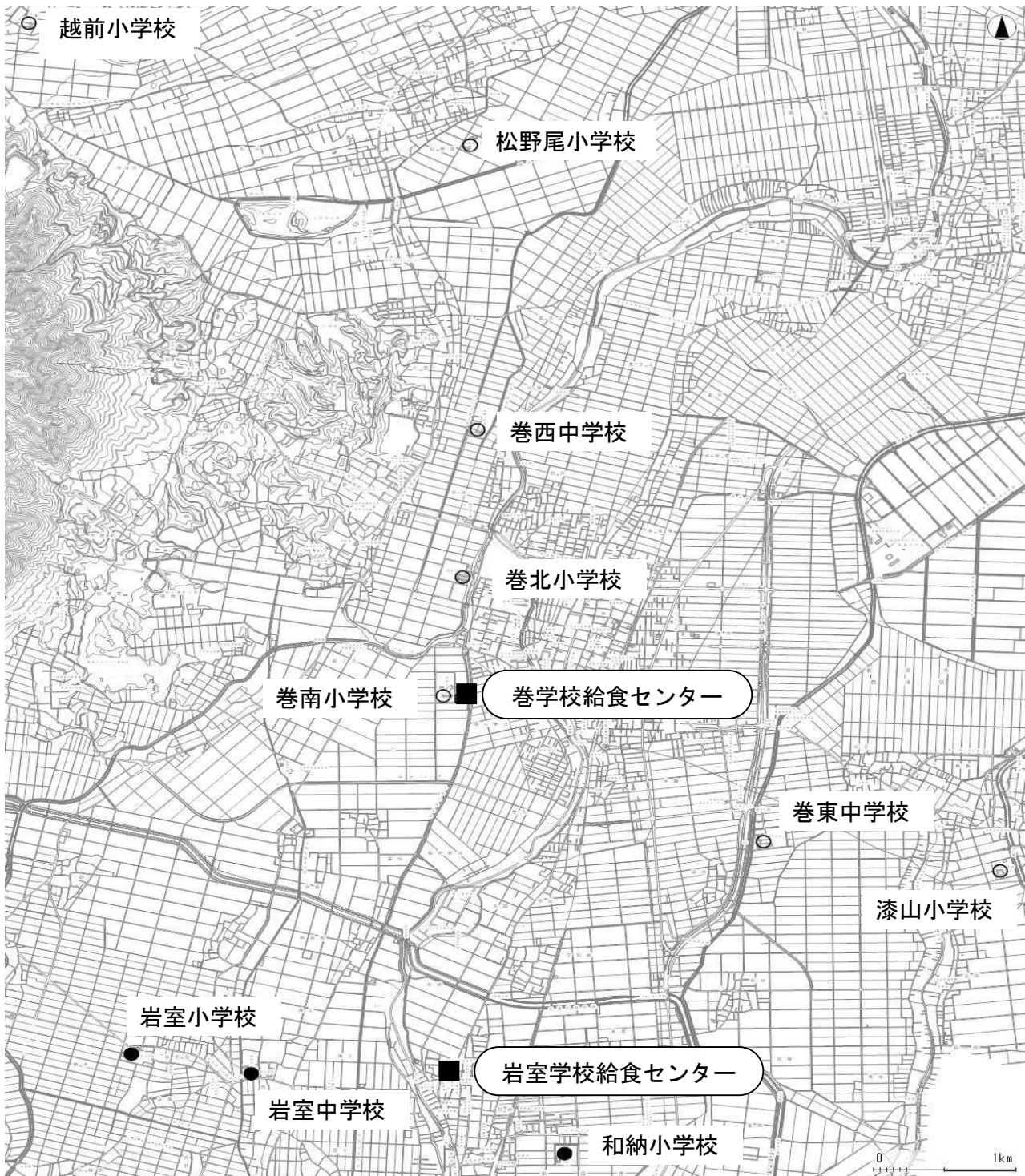
岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合について

- 1 岩室学校給食センターを廃止し、巻学校給食センターに編入する。
- 2 廃止は、平成 28 年 4 月 1 日とする。

施設の状況

	岩室学校給食センター	巻学校給食センター
調理場	簡易ドライシステム (旧基準)	ドライシステム (新基準)
受配校数	3校 (691食)	7校 (2,132食)
岩室地区の学校との距離	約2.5km (所要 約4分)	約6.0km (所要 約9分)
調理区分	市直営	民間委託
アレルギー対応 (H27)	6人	26人

学校給食センター・受配校位置図



議案第 23 号

教職員の人事措置について

教職員の人事措置について，次のとおりとしたため議決を求める。

平成 27 年 12 月 18 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

教職員の人事措置について

非公開での審議を予定しており，資料は関係者にのみ配布します。

報 告

(仮称) 国際青少年センター・(仮称) 芸術創造ファクトリー基本構想 (案) パブリックコメント (市民意見募集) の実施について

地域教育推進課

1 目的

大畑少年センター老朽化に伴い、施設の整備計画を進めています。

今後は、同センターを青少年を対象を拡大し、さらに、「国際交流」の機能を付加して(仮称)国際青少年センターとしていきます。また、文化芸術活動の支援・交流の拠点として、(仮称)芸術創造ファクトリーを、同センターに組み入れ、複合施設として旧二葉中学校の校舎を利活用し整備します。

「(仮称)国際青少年センター・(仮称)芸術創造ファクトリー基本構想(案)」策定にあたり、市民の意見を参考とするため、パブリックコメントを実施します。

2 募集期間

平成27年12月28日(月)～平成28年1月27日(水)

3 配布・閲覧場所

- ・市政情報室(市役所本館1階)
- ・各区役所(設置場所は各区地域課にお問い合わせください。)
- ・各出張所
- ・中央図書館 ほんぽーと
- ・教育委員会地域教育推進課(白山浦庁舎1号棟2階)
- ・新潟市ホームページ

4 提出方法

- ・郵送 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市教育委員会 地域教育推進課 宛
- ・ファックス 025-230-0421
- ・電子メール chiiki.edu@city.niigata.lg.jp
- ・直接持参 上記の閲覧・配布場所と同じ

5 提出された意見の取り扱い

- ・この手続きにより収集した個人情報については、「新潟市個人情報保護条例」に基づき取り扱います。
- ・意見に対する個別の回答は行いません。
- ・提出された意見は、取りまとめ、市の考え方と合わせてホームページ等で公表します。

(仮称) 国際青少年センター・芸術創造ファクトリー基本構想(案)について

1 経 緯

- 平成26年4月の舟栄中学校と二葉中学校の統合により、大規模跡地利活用の一つとして旧二葉中学校舎の利活用について庁内で検討
- 大畑少年センターの老朽化に伴い同施設を移転、「国際」「青少年」の機能付加し、(仮称)国際青少年センターを整備
- 文化芸術が有する創造性を活かしたまちづくりの一環として、文化芸術の担い手が相集い、創作活動ができる場として、(仮称)芸術創造ファクトリーを、上記の(仮称)国際青少年センターと複合施設として整備

2 基本構想・基本計画

(1) 理 念

新潟市教育ビジョン＝「心豊かな子ども」を育むためには、集団での活動の中で、目標をもって様々な体験活動などにチャレンジする場が必要

新潟市文化創造都市ビジョン＝文化芸術は、「心豊かな生活」を実現するうえで不可欠

青少年健全育成と文化創造の拠点を整備し、様々なプログラムの展開により「心豊かな子どもの育成」「心豊かな生活の実現」を目指します。

(2) 役 割

国際青少年センター、芸術創造ファクトリー双方の事業連携、人的交流を積極的に図り、ハード・ソフト面における連携が有効的に行われ、「心豊かな子どもの育成」「心豊かな生活の実現」がより効果的となる施設とします。

家庭や学校とは異なる場所で、様々な活動を体験することにより、次代を担う「心豊かな子ども」を育てることを目的とした施設とします。

国内外を問わず文化芸術の担い手が相集い、本市の文化芸術の底上げを図るとともに、文化芸術が有する創造性を活かしたまちづくりの一翼を担う施設とします。

(3) 機能・内容 ※複合機能＝国際青少年センターと芸術創造ファクトリーの機能として相互利用

機能	内容
宿泊・研修機能 (複合機能含む)	<u>集団宿泊体験や交流を通して、自立・協働・ボランティア等を学べる、宿泊・研修の場</u> ・ 宿泊室・食堂（カフェ）・浴室・多目的スペース・談話室
体験活動支援機能 (複合機能含む)	<u>海や松林等地の利を活かしたプログラムや芸術創造など、特色ある様々な学習プログラムが体験できる場</u> ・ 野外炊飯場・体育館・工作室・音楽室・調理室・クリエイティブスタジオ ・ 工房・ギャラリースペース
国際交流機能 (複合機能)	<u>異なる文化を持つ諸外国の人々と新潟の青少年との交流の場</u> ・ ワークショップスペース ・ 和室・コミュニティスペース
創作活動機能 (複合機能含む)	<u>国内外を問わず、アーティスト・クリエイターの創作活動（レジデンシャル等）・情報発信の場、異なるジャンルの創作活動による新たな文化芸術の創造の場</u> ・ 工房・ギャラリースペース・工作室 ・ クリエイティブスタジオ
新潟文化体験機能	<u>新潟市ならではの文化・芸術を体感できる場</u> ・ 水と土の芸術祭アーカイブ兼ギャラリースペース
市民の交流機能 (複合機能)	<u>施設利用者や市民の相互交流の場</u> ・ 和室・コミュニティスペース
その他	・ 野外炊事場 ※避難所指定は、施設の内容により市担当部署で検討して指定する。

※食堂（カフェ）については、形態を含め要検討

(4) 整備・運営手法

文化芸術及び教育に精通したディレクターの選任、両施設の一体管理を前提に、弾力的な運営と効率的な管理を図るため、指定管理を含め検討する。

3 スケジュール

- 平成 27 年度 基本構想・基本計画策定
基本構想パブリックコメント実施（H27. 12. 28～H28. 1. 27）
- 平成 28 年度 基本・実施設計
- 平成 29 年度 改修工事
- 平成 30 年度 施設供用開始（大畑少年センターは、新施設オープンまで開館予定）

旧二葉中学校校舎活用基本構想レイアウト図



新潟市立潟東小学校の校章・校歌について

学校支援課

1 校章について

(1) 校章・校旗デザイン制作者

新潟大学教育学部芸術環境講座 橋本 学 准教授

(2) 校章・校旗デザイン制作の経過

- 5月25日 橋本氏にデザイン制作依頼
3校統合理念・3校の校章デザイン等の資料を提供
- 6月11日 橋本氏より第1次案プラン1～4（各6種24パターン）提示
- 7月15日 3小学校の児童と保護者を対象に校章案についてのアンケートを実施
- 8月 6日 3校の児童・保護者アンケートより集約された意見を参考にプラン2，
プラン3を中心に制作を進めるよう橋本氏に依頼
- 8月11日 第2次案として，プラン2，プラン3を基本にした案を橋本氏が提示
3校および地域の代表から意見を集約し，橋本氏にデザイン修正を依頼
- 9月14日 橋本氏より第3次案提示
3校校長からの意見を集約し，色調，文字の大きさ等の最終案は橋本
氏に一任することでデザイン修正を依頼
- 9月28日 橋本氏より校章デザイン最終案提示

(3) 校章デザインの意味

- ・地域と縁のある「ヒシの葉」を構成に用い，輪となって築く新たな小学校のイメージを表現している。
- ・校名である「潟東」を中心に構成されている。
- ・用いた「ヒシの葉」の枚数は，15集落が集まった潟東小学校区の背景を取り込み，15枚で構成されている。
- ・色彩は，鎧潟の湿原池，田園に広がる青空をイメージしている。

(4) 今後の予定

- ・平成28年3月 校旗完成

新潟市立潟東小学校校章デザイン

■地域と縁のある「ヒシの葉」を構成に用いながら、輪となって築く新たな小学校のイメージを表現した。用いた「ヒシの葉」の枚数は、15集落が集まった潟東小学校区の背景を取り込み15枚で構成している。

■色彩は、鎧潟の湿原地、田園に広がる青空をイメージし選定した。



2 校歌について

(1) 校歌作成依頼者

作詞 にごりかわ 渾川 まさと 正人 氏 演出家 脚本家 作詞家

りゅーとぴあAPRICOT演技講師

作曲 のせ 野瀬 たまみ 珠美 氏 作曲家 編曲家

りゅーとぴあAPRICOT音楽担当・指導

(2) 校歌制作の経緯

- 5月 3校児童と保護者を対象に、校歌と校章についてのイメージ調を実施
- 6月 渾川氏、野瀬氏に校歌作成依頼
- 3校児童への「潟東小のイメージ」や新しい学校像などのイメージ調査集計結果や統合理念などの資料提供
- 統合実行委員会において、渾川氏 野瀬氏が校歌に対する思いについて懇談後、潟東小学校校舎建設予定地を中心に潟東地域を視察
- 7月14日 渾川氏より「歌詞」第1稿提出。歌詞の標記について数箇所修正を依頼
- 8月 5日 歌詞第2稿提出
- 8月 9日 歌詞最終稿提出 野瀬氏に歌詞を送付
- 9月15日 野瀬氏より曲第1稿提出
- 10月 4日 曲第2稿ならびに簡易伴奏譜提出
- 10月19日 曲第3稿ならびに簡易伴奏譜修正版提出
- 10月27日 校歌最終稿提出

(3) 校歌表現について

- ・3校児童のアンケートや地域の意見から、潟東地域でのびのびと育つ子ども達の姿や希望を歌詞に込めた。
- ・児童の発達段階を考慮し、歌いやすい音域と覚えやすい旋律で作曲した。
- ・1番は、雄々しい弥彦山と雄大なイメージから、地域で力強く育つ子ども達を、2番は、広いみどりの平野や清らかに輝く水のイメージから、希望をもって生き生きと育つ子ども達を、3番は、稲穂の豊かな実りのイメージから、地域に愛され、のびのびと育つ子ども達の姿を表現している。

(4) 今後の予定

- ・平成28年3月 揮毫(額) 取付

潟東小学校校歌

「明日（あす）を信じて」

作詞 渾川正人

弥彦おろしをからだに受けて
遠くならんだはさ木（ぎ）に誓う
ひとりじゃできないことだつて
力 あわせ 乗り越える
友を信じて 友を信じて
きずな輝くこの場所で

弥彦山のイメージ
地域で力強く育つ
子ども達

緑の平野のまんなかで
清らかな水の声に思う
すてきな未来に生きるため
勇氣 胸に 前を向く
夢を信じて 夢を信じて
希望輝くこの場所で

広く広がる水田
のイメージ
希望をもって育
つ子ども達

実る稲穂のかおりの中で
今も忘れぬ鎧潟
愛され育ったよろこびに
心 結び 歩み出す
明日（あす）を信じて 明日（あす）を信じて
笑顔輝くこの場所で

稲穂の豊かな
実りのイメージ
地域に愛され育つ
子ども達

いのち伸びゆく潟東

潟東小学校校歌

「明日(あす)を信じて」

作詞 渾川正人
作曲 野瀬珠美

♩=108 *mf*

1. や ひ
3. み の

mf

Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. *

5

こ おろしを からだにうけて とおくならんだは さぎにちかう
り のへいやの まんなかで きよらかなみずの こえにおもう
る いなほの かおりのなかで いまもわすーれぬ よろいがた

Ped. *Ped. *Ped. * Ped. * Ped.*

9

ひとりじゃ できないことだって ちからーあわせ のりこえる とも
すてきな みらいにいきるため ゆうきーむねに まえをむく ゆめ
あいされそだ ったよろこびに こころーむすび あゆみだす あす

Ped. *Ped. *Ped. *

13

を しんじてともをしんじて きずなかがやく このばしよで2.みど
 を しんじてゆめをしんじて きぼうかがやく
 を しんじてあすをしんじて えがおかがやく

Ped. * Ped. *

17

このばしよで D.S. このばしよで

Meno mosso ♩=96

Meno mosso ♩=96

D.S. rit. Ped. * Ped. *

20

いのちのびゆくかたひがし

rit. Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. *

平成27年度 全国体力・運動能力，運動習慣等調査について

学校支援課

1 調査の目的

- ・子供の体力の状況を把握・分析することとその改善を図る。

2 調査に対象とする児童生徒

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象

(1) 小学校調査

小学校第5学年，特別支援学校小学部5学年

(2) 中学校調査

中学校第2学年，中等教育学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年

3 調査事項

(1) 実技に関する調査

【8種目】

小学校→握力，上体起こし，長座体前屈，反復横跳び，シャトルラン，
50m走，立ち幅跳び，ソフトボール投げ

中学校→握力，上体起こし，長座体前屈，反復横跳び，シャトルラン，
50m走，立ち幅跳び，ハンドボール投げ

(2) 質問紙調査（運動習慣，生活習慣等に関する質問紙調査）

※結果は全て新潟市のデータとなります。

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

【全国・全市平均値との比較】

○…全国平均を上回る

▼…全国平均を下回る

◇…全国平均と同値

小学校5年			握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
男子	25年度	市	○ 17.19	○ 20.47	○ 34.21	○ 44.27	○ 57.27	▼ 9.39	○ 155.48	▼ 22.95	○ 56.03
		全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
	26年度	市	○ 17.33	○ 20.54	○ 34.57	○ 44.60	○ 57.92	○ 9.34	○ 154.65	▼ 22.65	○ 56.33
		全国	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.70	22.90	53.91
	27年度	市	○ 16.90	○ 20.44	○ 34.86	○ 44.06	○ 56.47	○ 9.37	○ 153.00	▼ 22.12	○ 55.73
		全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	25年度	市	○ 16.85	○ 19.08	○ 38.09	○ 42.13	○ 45.92	○ 9.63	○ 148.22	▼ 13.80	○ 57.52
		全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70
	26年度	市	○ 16.92	○ 19.34	○ 39.41	○ 42.55	○ 47.10	○ 9.59	○ 148.46	○ 14.05	○ 58.03
		全国	16.09	18.26	32.71	39.36	40.29	9.64	144.76	13.90	55.01
	27年度	市	○ 16.53	○ 19.44	○ 39.55	○ 42.42	○ 46.27	○ 9.57	○ 147.78	○ 13.93	○ 57.87
		全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

中学校2年			握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
男子	25年度	市	○ 30.59	○ 29.44	○ 46.38	○ 52.62	○ 89.36	○ 7.91	○ 202.16	○ 21.84	○ 45.08
		全国	29.21	27.58	43.11	51.08	84.98	8.04	193.68	21.01	41.78
	26年度	市	○ 29.83	○ 28.98	○ 45.53	○ 52.43	○ 90.38	○ 7.94	○ 200.51	○ 21.56	○ 44.96
		全国	29.00	27.45	42.92	51.31	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
	27年度	市	○ 29.67	○ 28.25	○ 47.29	○ 52.55	○ 89.60	○ 7.98	○ 200.47	○ 21.53	○ 44.78
		全国	28.93	27.43	43.08	51.62	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
女子	25年度	市	○ 24.39	○ 24.42	○ 49.00	○ 46.55	○ 61.20	○ 8.76	○ 171.91	○ 13.07	○ 51.88
		全国	23.76	23.03	45.12	45.27	57.20	8.88	166.18	12.97	48.42
	26年度	市	○ 24.18	○ 24.63	○ 48.89	○ 46.71	○ 61.68	○ 8.78	○ 172.21	○ 12.99	○ 51.74
		全国	23.70	23.07	45.23	45.63	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66
	27年度	市	○ 24.14	○ 24.41	○ 49.57	○ 46.73	○ 61.77	○ 8.79	○ 171.97	○ 13.06	○ 51.72
		全国	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08

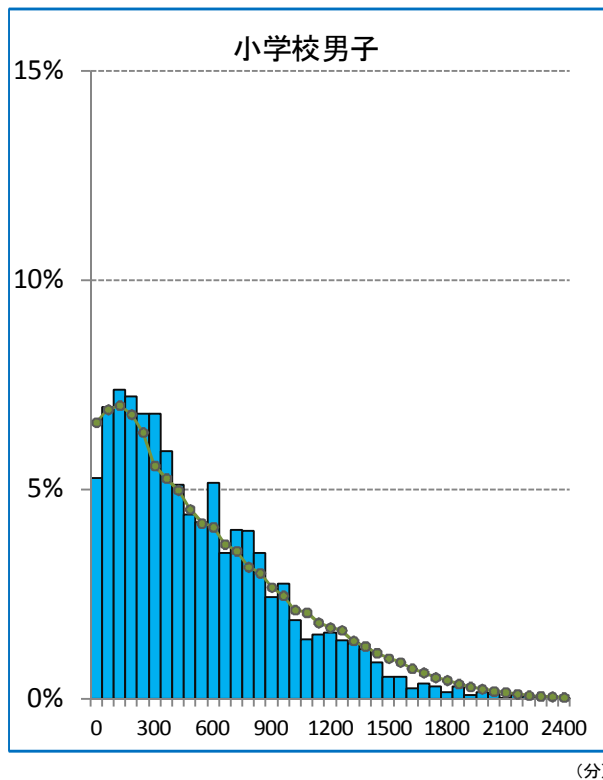
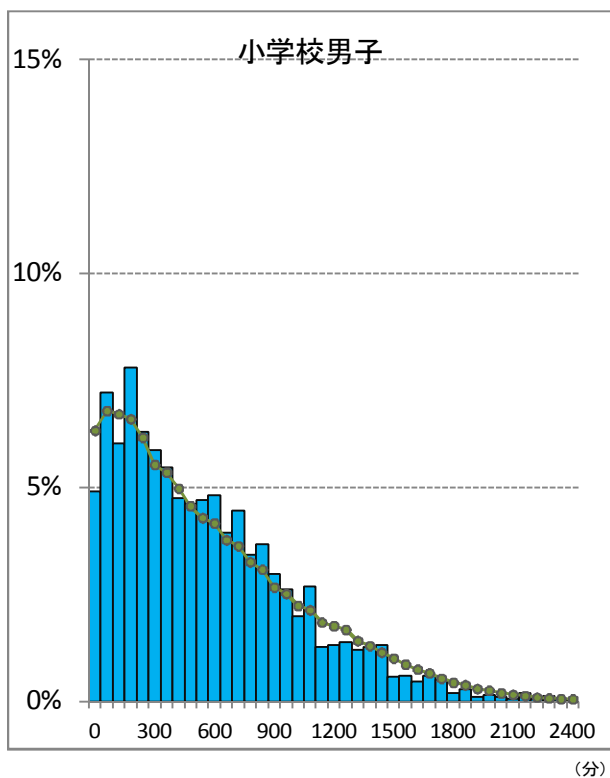
※ 小学校5学年男子ソフトボール投げ以外の種目は、全て全国平均を上回っている。

1週間の総運動時間分布

(体育の授業を含まない)

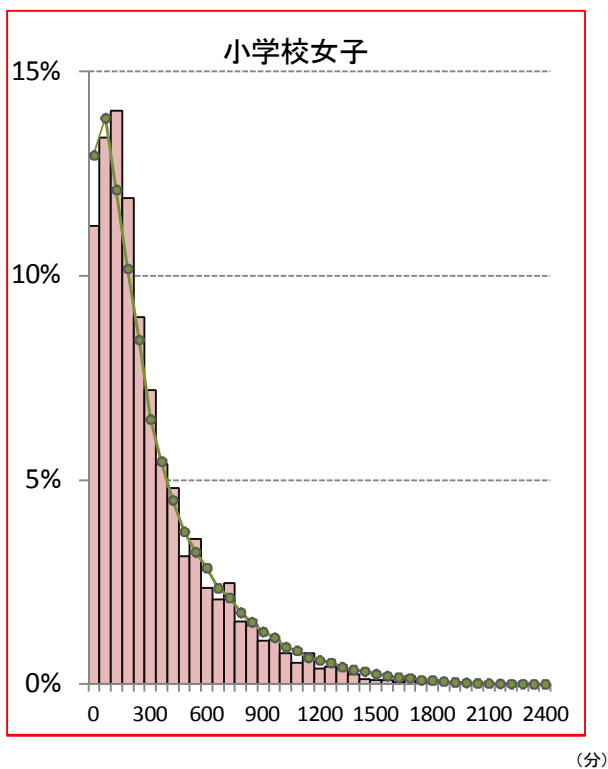
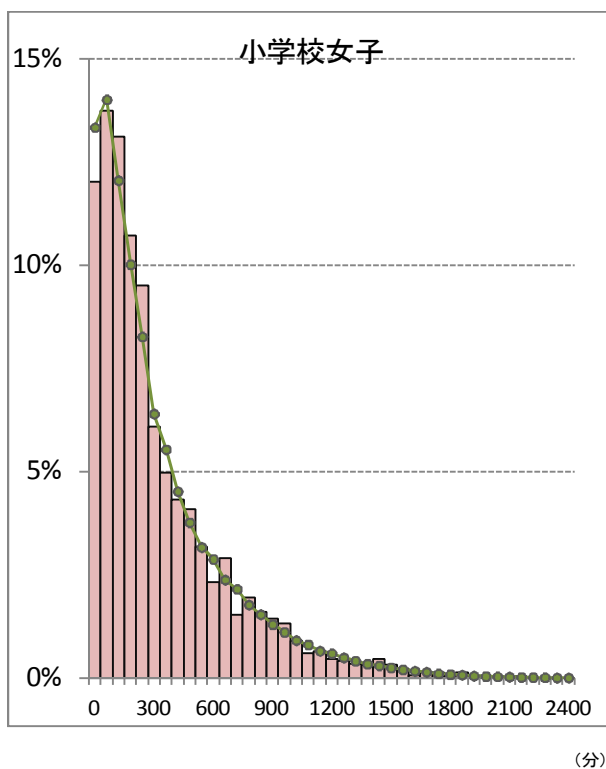
平成26年度

平成27年度



平成26年度

平成27年度



※折れ線グラフは、全国(国公立学校)の分布です。

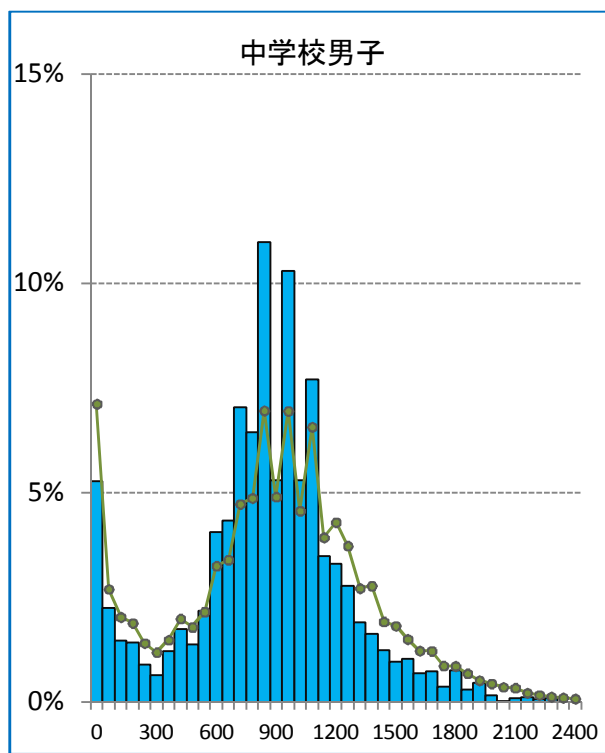
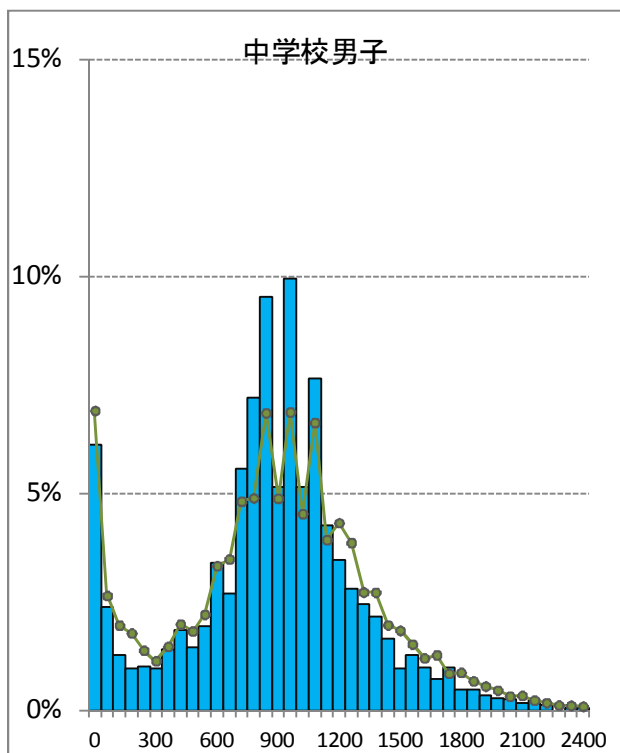
※男女ともに1週間の総運動時間が、今年度は120分から180分が一番多くなっている。また、全国と比べても、運動時間が60分以内の児童が減り、全体的に総運動時間が増えている。

1週間の総運動時間分布

(保健体育の授業を含まない)

平成26年度

平成27年度

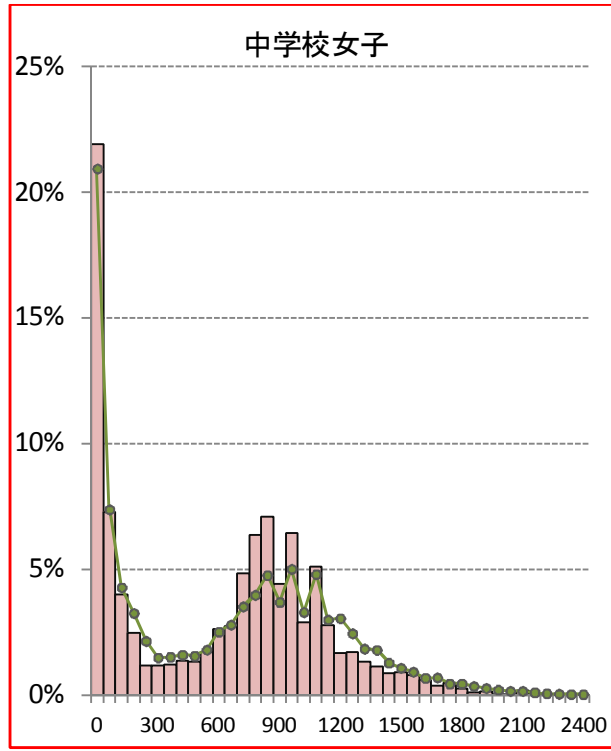
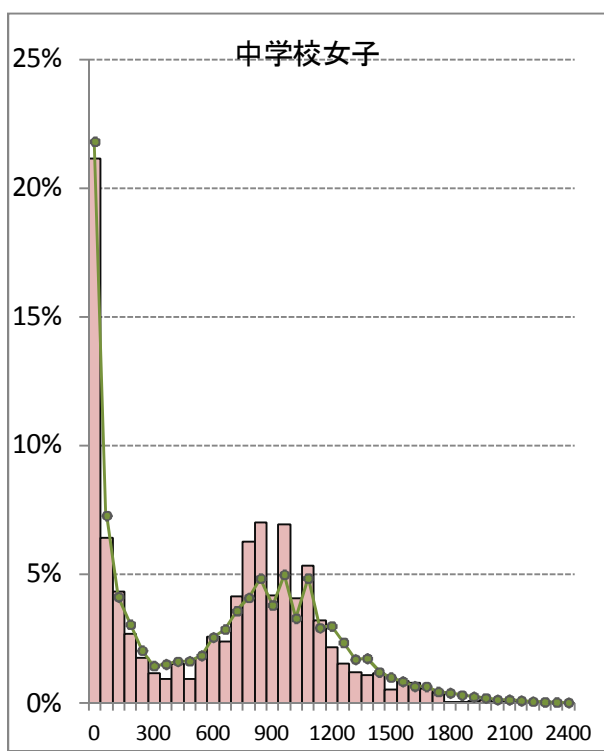


(分)

(分)

平成26年度

平成27年度



(分)

(分)

※折れ線グラフは、全国(国公立学校)の分布です

※二極化傾向は昨年度、今年度と同様であった。男子は、総運動時間60分以内の人数が減ったのに対して、女子は、若干増えている。全国と比較しても、女子の運動時間の少ない生徒が多少増えている。

子どもの運動に対する意識

＜新潟市教育ビジョン第3期実施計画＞

基本施策 2 「豊かな心と健やかな身体の育成」 (5) 体力づくりの推進

☆指標に対する肯定的評価の割合の変化 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を活用)

Q1: 運動は好きですか? 「好き」, 「やや好き」, 「やや嫌い」, 「嫌い」

小学校5年男子 (%)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
平成25年	69.1	23.2	5.2	2.5
	92.3		7.7	
平成26年	74.9	19.8	4.1	1.2
	94.7		5.3	
平成27年	76.7	18.3	3.7	1.3
	95.0		5.0	

小学校5年女子 (%)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
平成25年	47.8	32.6	14.5	5.1
	80.4		19.6	
平成26年	55.3	32.3	10.2	2.2
	87.6		12.4	
平成27年	58.1	31.4	7.7	2.8
	89.5		10.5	

中学校2年男子 (%)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
平成25年	58.6	27.8	9.5	4.1
	86.4		13.6	
平成26年	63.6	27.7	5.9	2.8
	91.3		8.7	
平成27年	65.5	24.8	6.4	3.3
	90.3		9.7	

中学校2年女子 (%)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
平成25年	39.0	33.7	18.6	8.7
	72.7		27.3	
平成26年	44.0	35.2	14.9	5.8
	79.2		20.8	
平成27年	45.8	31.8	15.1	7.3
	77.6		22.4	

※ 運動が「好き」と答える児童・生徒が増加している。

※ 運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)

H26年度 79.2% → H27年度 77.6% (マイナス1.6%)

Q2：運動は得意ですか？ 「得意」、「やや得意」、「やや苦手」、「苦手」

小学校5年男子 (%)

	得意	やや得意	やや苦手	苦手
平成25年	47.0	35.2	13.1	4.7
	82.2		17.8	
平成26年	50.4	34.3	11.7	3.6
	84.7		15.3	
平成27年	50.6	34.1	11.7	3.6
	84.7		15.3	

小学校5年女子 (%)

	得意	やや得意	やや苦手	苦手
平成25年	26.6	38.0	25.2	10.2
	64.6		35.4	
平成26年	30.6	41.2	21.7	6.5
	71.8		28.2	
平成27年	31.5	40.5	21.3	6.7
	72.0		28.0	

中学校2年男子 (%)

	得意	やや得意	やや苦手	苦手
平成25年	31.2	41.5	19.6	7.7
	72.7		27.3	
平成26年	29.2	44.5	20.2	6.1
	73.7		26.3	
平成27年	34.9	39.9	18.4	6.8
	74.8		25.2	

中学校2年女子 (%)

	得意	やや得意	やや苦手	苦手
平成25年	17.6	36.6	29.3	16.5
	54.2		45.8	
平成26年	16.4	40.3	30.3	13.0
	56.7		43.3	
平成27年	17.9	37.9	27.8	16.4
	55.8		44.2	

※ 運動が「得意」と答える児童・生徒が増加している。

※ 運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)

H26年度 56.7% → H27年度 55.8% (マイナス0.9%)

教科書検定期間における編集会議の本市教員の参加について

学校支援課

1 事案の概要

- 平成 23 年度から使用される教科書検定期間中（平成 21 年）に，三省堂による小学校国語の「編集会議」が 2 回開催された。
- 会議では，旅費・宿泊費の他に，懇親会費，謝礼（5 万円）等が支払われた。
- 2 回のうちの 1 回に本市小学校長が参加した。
- 当該校長は，現在は退職し新潟市の非常勤職員として勤務している。

2 これまでの経緯

平成 27 年

- 9 月 文科省に，外部から「三省堂編集会議」についての情報提供
- 10 月 文科省が三省堂に事情聴取
- 12 月 3 日（木） 文科省から県義務教育課へ情報提供
＜提供内容＞ 検定期間中の編集会議が 7 回開催される。（26 都府県 53 人）
そのうち H21.12.19 開催の小学校国語編集会議に新潟県 2 名が参加
- 12 月 7 日（月） 県義務教育課から新潟県 2 名のうち，1 名が新潟市校長であったとの情報提供
- 12 月 11 日（金）本人への聴き取り（1 回目）
- 12 月 16 日（水）本人への聴き取り（2 回目）
本人が三省堂へ謝礼（5 万円）を返金

3 平成 22 年度 本市小学校教科書採択について

- 当該校長は教科書採択に関わる教科書選定委員，専門調査員ではなく，採択に関与できる立場ではなかった。
- 三省堂の教科書は採択されていない。小学校国語は「東京書籍」が採択された。
- 他の教科においても，三省堂の教科書は採択されていない。

4 今後の対応等について

- 教科書会社が開催する編集会議や意見聴取の会への参加の在り方など，教科書採択に関わる対応について各学校に通知するとともに，教科書採択に関して疑念を招くことのないよう，校長・教頭をはじめ全教職員に周知徹底を図る。

協 議 会

新通小学校の分離新設に伴う新設小学校の通学区域について

教育総務課企画室

1 現状

(1) 新通小学校の児童数・学級数（平成 27 年 5 月時点）

児童数 1,046 人

通常学級数 33 学級

特別支援学級数 3 学級

プレハブ校舎で対応

(2) 適正配置の方針

分離新設によって適正規模化を図る。

新設小学校通学区域検討会を立ち上げ、新設小学校の通学区域及び学校規模検討。

2 新設小学校通学区域検討会について

(1) 目的

新通小学校からの分離による新設校の通学区域設定にあたり、地域や保護者の意向を反映させる。

(2) 構成メンバー

坂井輪中学校区まちづくり協議会（6 人）、関係自治会（7 人）、
新通小学校 PTA（7 人）、新潟市教育委員会

(3) 検討経過

平成 27 年 5 月 第 1 回検討会

・ 検討会の目的やスケジュール説明

・ 通学区域設定における優先事項確認

6 月 住民アンケート配布

7 月 住民アンケート回収・集計

9 月 第 2 回検討会

・ 通学区域複数案提示、検討

10 月 第 3 回検討会

・ 通学区域（案）決定

・ 開校までに児童数の大幅な変更が見込まれ、学校規模に課題が生じる場合は、再検討して通学区域の見直しを行う。

12 月 地域説明会

